

土木建築部総合評価競争入札審査委員会（平成18年度第1回） 議事概要

開催日時及び場所	平成18年11月29日（水） 午後3時～午後5時 平安会館 2階 嵯峨（京都市上京区烏丸通上長者町上ル）	
出席委員氏名（職業）	委員 谷口 栄一（京都大学大学院工学研究科教授） 委員 西海 俊幸（国土交通省京都国道事務所副所長） 委員 町田 玲子（京都府立大学名誉教授） （五十音順 敬称略）	
議 事 概 要	1 開会あいさつ（ ^{もりた} 森田土木建築部長） 2 土木建築部総合評価競争入札審査委員会の設立（委員長選出） ・谷口委員を委員長に選出した。 3 京都府における入札契約制度等の概要及び総合評価競争入札の試行について ・京都府における入札契約制度等の状況について、概要を報告した。 ・地方公共団体等における総合評価方式の実施状況について、国土交通省の調査結果に基づき全国の状況を報告した。 ・京都府における総合評価競争入札の試行について、試行要綱及びその運用に基づき説明を行った。 4 簡易型総合評価競争入札の項目及び配点について (1) 審査の結果 簡易型総合評価競争入札の評価項目、評価基準及び配点については、事務局案どおり試行することで了解を得た。 (2) 審査の状況 評価項目が適正かどうかの判断のため、個別案件は委員にも工事現場の状況がわかる資料等を提示してほしいとの意見があった。 5 木津川上流浄化センター建設工事について ・標準型で取り組むこと及び落札者決定基準について説明を行い、事務局案どおり試行することについて了解を得た。	
委員からの意見・質問とそれに対する回答等	意見・質問	回 答 等
	・簡易型、標準型、高度技術提案型の3種類が一般的だが京都府での取り組みはどうするのか。 ・木津川上流浄化センター建設工事案件の加算点の考え方について説明されたい。	・簡易型、標準型から試行していく。 ・維持管理費（ライフサイクルコスト）を重視するという視点で設定している。

土木建築部総合評価競争入札審査委員会（平成18年度個別意見聴取） 議事概要

開催日時及び場所	平成19年1月10日（水）午後3時～午後5時、 12日（金）午前10時～午後5時 各委員の職場へ個別訪問
出席委員氏名（職業）	委員長 <small>たにくち えいいち</small> 谷口 栄一（京都大学大学院工学研究科教授） 委員 <small>にしうみ としゆき</small> 西海 俊幸（国土交通省京都国道事務所副所長） 委員 <small>まちだ れいこ</small> 町田 玲子（京都府立大学名誉教授） （五十音順 敬称略）
議 事 概 要	「簡易型」の5案件について、総合評価競争入札によることの可否及び評価に関する基準について意見を聴取する。

土木事務所	工事名	箇所名	施工場所	予定工期	主な工種
乙訓土木	地域道路改良工事	伏見柳谷高機線	長岡京市柳谷	H19.3～H19.9	6ヶ月 法面工（植生基材吹付）
山城北土木	臨時生活関連施設整備	宇治淀線	久世郡久御山町大橋辺	H19.3～H19.8	5ヶ月 橋面舗装工（補修）
中丹西土木	地域振興道路工事	国道173号	福知山市三和町台頭	H19.3～H19.6	3ヶ月 舗装工（補修）
丹後土木	橋りょう改良工事	宮津養父線	宮津市須津	H19.3～H19.10	8ヶ月 土工、排水工（ホックスカルパ-ト）、舗装工
山城南土木	通常砂防工事	新川支溪	加茂町菟並	H19.3～H19.8	5ヶ月 補強土法面工

簡易型における工事種別ごとの加算点の標準的な配分

工事種別	工程管理	品質管理	安全管理	施工管理
現場施工が	河川	3	2	2
中心な工事	道路	2	2	3

【結果】

5案件について、総合評価競争入札によることで了解を得た。また、評価基準及び配点については、事務局案どおり試行することで了解を得た。

委員からの意見・質問とそれに対する回答等	意見・質問	回 答 等
	<ul style="list-style-type: none"> ・規模が大きく、技術的な工夫が求められる工事が総合評価競争入札の対象として望ましいと思う。 ・企業の施工能力の評価では、良好な業者を評価する指標について、さらに拡大検討が必要と考える。 ・価格競争に留まることがないよう、加算点の拡大も考えていく方がよい。 ・施工計画の評価では、工事内容の特性を十分把握し、判断基準にばらつきがないようにすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・試行として取り組む中、今後、結果を踏まえ、改善等検討していきたい。